

別記
第1号様式（第14条関係）

環境マネジメントシステム導入報告書

(宛 先) 京 都 府 知 事		平成25年 10月 3日
住所（法人にあっては、主たる事務所の所在地） 京都府京田辺市大住浜55-12		氏名（法人にあっては、名称及び代表者の氏名） パナソニック デバイス日東株式会社 代表取締役常務 新宮 祐二
環 境 マ ネ ジ メ ン ト シ ス テ ム の 名 称	環境マネジメントシステム（パナソニック株式会社デバイス社回路部品事業部）	
適 用 範 囲	パナソニックデバイス日東株式会社 パナソニック株式会社デバイス社森田工場他4箇所	
導 入 年 月 日	1998年 1月10日	
認 証 番 号	EC13J0011	
基 本 方 針	<ol style="list-style-type: none"> 「くらしのエコアイデア」の推進 <ul style="list-style-type: none"> 環境負荷の低減を目指したグリーンプロダクツ製品の開発 新製品の開発を通し、CO2排出量の削減 グリーン調達、有害化学物質規制への対応 「ビジネススタイルのエコアイデア」の推進 <ul style="list-style-type: none"> モノづくり力の向上を図り、CO2排出量の削減、省資源、廃棄物削減 リサイクル化、および有害化学物質の適正管理と削減 「環境リスクマネジメント」の推進 <ul style="list-style-type: none"> 大気、水質、土壌、地下水等の環境汚染防止 カスタマ・地域社会の要請事項への的確な対応、環境リスク低減 	
環境に配慮した事業活動を自主的に進めていくための目標（以下「目標」という。）	<ol style="list-style-type: none"> ①省エネルギー：CO2排出削減貢献度（'05年の生産高原単位を基準としたときのCO2排出削減量）：'05年度比19.8％削減 ②廃棄物：廃棄物発生量の削減：'11年度比3％削減 ③水：使用量削減率：'11年度比2.5％削減 ④化学物質：ヒト・環境影響度（排出移動量×有害係数）の削減：1000カウント以下 	
目標を達成するための取組の内容	<ol style="list-style-type: none"> ①省エネルギー：非球面ガラスレンズ工程の総合歩留向上施設、レンズ専用クーラー室外機の省エネ、クリーンルーム 空調スペース縮小、工場共通空調の省エネ ②廃棄物：木製パレットをリターナブル可能な樹脂パレットに変更による廃棄物の削減、高精度丸目機導入による汚泥の削減 ③水：による高精度丸目機導入による水使用量の削減 ④化学物質：エタノール、イソプロピルアルコールの使用量削減 	
目標を達成するための取組の進捗状況	<ol style="list-style-type: none"> ①省エネルギー：非球面ガラスレンズの総合歩留向上は継続して推進中 ②廃棄物：樹脂パレットによるリターナブル化及び高精度研磨機導入による廃棄物の削減は実施済み ③水：高精度研磨機導入による水使用量の削減は実施済み ④化学物質：エタノール、イソプロピルアルコールの使用量削減は実施済み 	
目標を達成するための取組の成果及び当該成果に対する評価	<ol style="list-style-type: none"> ①省エネルギー：当初の計画よりも生産高が減ったため計画未達。 ②廃棄物：上記取組により計画達成。 ③水：上記取組により計画達成。 ④化学物質：上記取組により計画達成。 	
事業活動に係る法令の遵守の状況	<ul style="list-style-type: none"> ・法律及び条例等の遵守事項については、定期的な監視・測定を実施し、遵守事項の評価を行っている。 ・法律及び条例の要求事項から逸脱する事例は発生していない。 	
環境マネジメントシステムの評価及び見直しの内容	<ul style="list-style-type: none"> ・活動全体の評価については年に1回パナソニック株式会社デバイス社による内部監査およびマネジメントレビューの実施、2年に1度、第三者監査を受け、課題事項の改善に取り組み次年度の活動につなげている。 ・システム上の課題等があれば、基準・要領・手順書等を改訂している。 ・内部監査や第三者監査において継続的改善活動が実践されているとの評価を頂いている。 ・2012年度においてはシステムの見直しはない。 	

注 認証番号の欄は、導入した環境マネジメントシステムについて第三者の認証を受けている場合にのみ記入してください。